

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

4月は年度始まりの時期、企業では入社式、学校では入学式など日本中がどことなく初々しい空気に包まれる。4は死を連想するため不吉とされるが今

日4月4日は、しが合
わさるから「幸せの
日」という発想をすれ
ば心豊かな1日になる
はずだ。

「アイメディア情報
バザール・エンジン
ルーム」の構成メン
バー高谷治美さんが
ユーモア作家ウィル・
ロジャースの名言「第
一印象を作るのに二度
目のチャンスはない」
を紹介。新年度が始ま
り、新たな出会いも多
くなる頃、職場でもマ
マ友関係でも第一印象
は大事。「無意識の習
慣」を見直すべきと必
要性を伝えた。無意識
の習慣として、無意識
に立っている姿が猫

背、常にスマホを見て
いる、適当な挨拶をし
ている、初対面で話の
きっかけを用意してい
ない、相手に関心を寄
せた会話をしていない
、話すときは「はっ
きり」「ゆったり」「丁
寧」にしていけないな
ど、常に心
掛けていな
いことに気
づかされ
た。

第一印象を作るのに 二度目のチャンスはない

地域住民が日常生活
でよく使い、自転車や
歩行者などの通行の多
い生活道路の法定速度
を時速60キロから30キ
ロ引き下げるため政府は
2024年7月に道路
交通法施行令の改正を

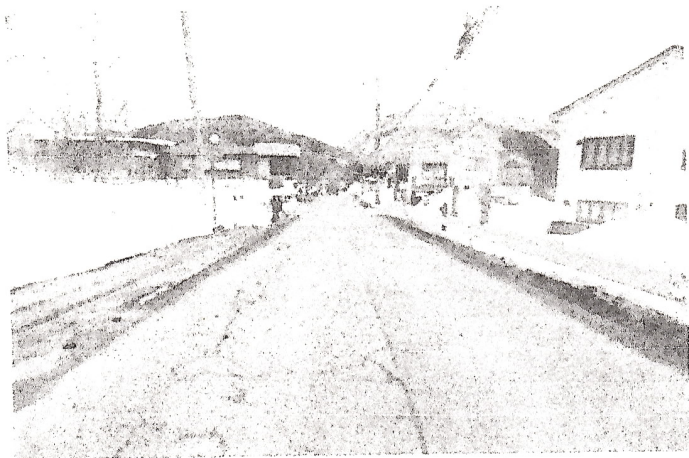
閣議決定し、来年9月
から実施の予定だ。法
改正の主な要因は道幅
の狭い道路での事故発
生率が下げ止まってい
る事、時速30キロを超え
ると事故の際、歩行者
の死亡リスクが高くな
るためと説明。中央線

「白色の実
線」。追い
越し可能な
道路幅6メートル
未満の「白色の破線」
なんともなく知ってはい
ないが、自信を持って説
明できる人は意外と少
ないのが実情だ。実際
時速30キロで走行すると
多くの車両に追い越さ
れる。多くの追い越し
が多発して逆に事故を

誘発するのではと心配
になる。静かな環境の
保持と地域住民の命を
守るため速度制限を守
る意識が更に求められ

るだろう。

(信州地域社会フォー
ラム会員・白馬村森上)



旧148号線森上集落内の道路に中央線はない。車速の論議が求められている